

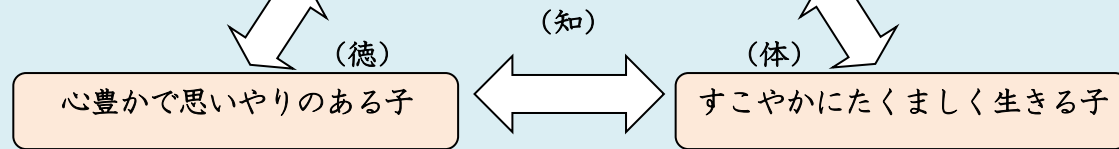
令和3(2021)年度 額小学校グランドデザイン

学校教育目標

豊かな人間性と知性に富み、
創造性と実践力のあるたくましい子どもの育成

めざす児童像

自ら学び、考え、行動できる子



「挑戦・努力・感謝」

中期目標と方策

「ぬくもりと かのうせい(可能性) いっぱいの ぬか(額)小学校」

- ① 基本的な生活習慣の確立
 - 「早寝早起き朝ご飯」を推進し、規則正しい生活を確立する
 - 情報モラルとメディアの自己抑制力を養うとともに、自立的な生活力の向上を図る
 - 集団生活の中で、ルールやマナーを大切に考え、規律ある生活を送る
- ② 学ぶ意欲を培う指導の工夫
 - 言語活動の充実、体験活動の重視、ICTの活用など指導の工夫を行い、「できる・わかる」といった実感が伴う授業作りを進める
 - 主体的・対話的な深い学びを追究し、子ども達に興味関心を持たせ、学ぶ意欲を高めたり持続させたりする
 - 目標を持って継続的に運動する機会を通して、挑戦する意欲を高め、最後まであきらめずに努力する心を養う
- ③ あたたかい人間関係の醸成
 - 道徳教育を充実し、子ども達が集団の中で感情を調整し、相手のことや周りの人のことを考えて行動できるようにする
 - 毎日の生活で、挨拶を大切にしている心、自分のものや公共のものを大事にする心、身近にいる人やお世話になっている人に感謝する心を育む
- ④ 教育環境の整備・充実
 - 地域や保護者と連携した教育活動を展開する(コミュニティースクール)とともに、子ども達の安全を見守る体制の維持継続に努める

楽しい学校

学級経営

- 子ども一人ひとりが規律ある学校生活の中で、教師や友達を信頼し自己有用感が持てる「安心できる学級」
- 子ども一人ひとりが意欲を持って楽しみながら取り組み、みんなで協力してやり遂げる達成感や充実感が味わえる「期待できる学級」

日本国憲法
教育基本法
学校教育法・学校保健安全法
関係法令

学習指導要領

県

教育振興基本計画(学びの12カ条+)

市学校教育基本計画「めざすべき金沢の子ども像」

- 1 自ら学び、自ら考え、創造する子
- 2 正しく判断し、責任を持って行動する子
- 3 自他ともに認め合い、お互いに高め合う子
- 4 心身ともに健康で、たくましく生きぬく子
- 5 夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子
- 6 金沢に誇りを持ち、ふるさとを愛する子

学校研究

研究主題: 主体的に考える子をめざして
～考えを伝え合い深め合う道徳科の授業づくり～

- ・物事を多面的、多角的に考える手立てを探る
- ・自己を見つめ、自分の生き方について考える手立てを探る
- ・児童の良さや成長を見取るための評価の方法を探る

研究の内容

- ・授業研究
- ・学びの基盤づくり…「話す・聞く・書く」力の向上
家庭学習習慣、道徳の環境づくり
- ・家庭や地域社会との連携
- ・道徳教育を中核に捉えたカリキュラム・マネジメント

各教科・外国語活動

各教科の目標、内容、教材を通して、基礎・基本の確実な定着と活用力を育む。

道徳

重点目標

自分の子だけでなく友だちのことも考え、よりよい人間関係を築き、安心して学ぶことができる

学年の重点目標

- 低: 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行う
身近にいる人に温かい心で接し、親切にする
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に
生きることのすばらしさを知り、生命を大切に
中: 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやりぬく
相手のことを思いやり、進んで親切にする
約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る
生命の尊さを知り、生命あるものを大切に
高: より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力して物事をやり抜く
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、互いに自分と異なる意見や立場を尊重する
法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たす
生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する

総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする。

金沢ふるさと学習

- 3年: 金沢の和菓子のみみつ
- 4年: 伝統息づくまち金沢～偉人・伝統工芸～
- 5年: 金沢の食文化を知ろう、金沢の自然を学ぶ
- 6年: 金沢のまちを学ぶ、金沢から世界の発展を考える、自分の将来について考える

額中校区グランドデザイン

9年間を通じて実現したい子ども像

知・徳・体の調和のとれた、地域で愛される子ども

共通の取組み

- ・推進体制の構築: 合同連絡会、教科部会
- ・児童生徒の交流: 挨拶運動、寺子屋
- ・教員相互の授業参観: 小中一貫教育の日
- ・学習の関連を明記した教育課程: 重点指導事項
- ・情報発信: 学校便り、スクールフォーラム

教師・保護者の願い

児童の実態

学力調査等から

生徒指導

人との関わりの中で
お互いを認め合い行動できる子

指導方針

- ・額っ子のきまりをもとに、自ら考え判断して行動する力を育む(自己決定)
- ・よさを認め合う活動を充実させるとともに、自己表現力を育む(存在感)
褒める活動の重視
- ・一人一人の内面や立場を考えた生活環境をつくる(共感的人間関係)

特別活動

学級活動

学校生活を向上させようとする意図のもとに、自発的自治的に学級生活に関する諸問題を話し合い、解決し、さらに学級内の仕事を分担処理するための活動を行うことによって、学級集団の一員として自覚を高め、自主性や社会性を養う。

児童会活動

児童の自発性・自主性に根ざした活動を通して、責任感・協力性・行動力を身につけ、望ましい人間関係を育むとともに、自分たちの学校生活をより豊かな楽しいものにしていくという態度を育てる。

クラブ活動

学校生活を楽しく送ろうと同好の児童が集まり、共通の興味・関心を追求しようとする主体性・社会性を養い個性の伸張を図る。

学校行事

集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、必要な資質・能力を育成する

- ・他者との協働
- ・合意形成、意志決定
- ・よりよく自己実現を図ろうとする態度

キャリアパスポート

自らの学習状況やキャリア形成の見通し、振り返り、自己評価→自己実現への態度や意欲

今年度の重点的取組目標と具体的な方策

「無理なく、無駄なく、足並み揃えて進む、チーム額小学校」

① 組織的な学校運営

- 主任が機能し、全ての教職員で協働できる体制をつくる
- 学校評価により、PDCA サイクルに基づいた機能的な学校運営を行う
- 教職員の個々の能力や経験を生かしたり、外部からの指導助言を受けたりすることにより、教師力の向上や人材育成を図る
- 様々な危機に対応する意識の向上を図り、未然防止や早期発見・早期対応が可能な危機管理体制を構築する
- **安心感があり期待感の持てる学級及び学年経営を行う**
- 特別支援教育についての理解を深め、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実とともに効果的な支援に努める
 - ・児童の実態の丁寧な把握
 - ・個に応じた教室環境の整備、指導の工夫
 - ・個別の教育支援計画の作成及び活用（通常の学級）
 - ・個別の指導計画の作成及び活用（通級指導教室、特別支援学級）
- 人材育成のための校内研修の充実を図る
 - ・研修コーディネーターを中心に、職員及び学校のニーズをもとにした実践力の向上を目指した研修を行う

② 確かな学力

- 石川県「学びの指針 12 か条+(プラス)」(2016 年改訂) に基づく実践を進める
- 自ら課題を発見し主体的協働的に課題解決を図る児童の育成を目指し、主体的・対話的な深い学び（金沢型学習スタイル）を追究する
- 道徳教育を推進し、自らのことや身近な人のことを考え、より良い行動ができるようにする
- 通常の学級における発達障害などの子どもへの対応及び実践を進め、授業ユニバーサルデザイン（授業UD）の視点を取り入れた学級経営・授業作りを行う
- 習熟を図る時間を確保し、児童一人ひとりの基礎基本の確実な定着を図る
- 高学年での**教科担任制**により、教科教育の充実を図る
- 1人1台端末により、ICT を活用した授業作りを進めるとともに、プログラミング教育を通じて論理的思考を育む
- 外国語教育及び外国語活動を通じて、国際感覚やコミュニケーション力を養う
- 学校図書館を活用するとともに、図書ボランティアと連携し、家庭及び学校における読書活動の充実と読書習慣の定着を図る
- 小中学校で学びに向かう子どもの姿を共有し、小中連携による組織的な実践を進める

③ 豊かな人間性の育成

- 重点目標を設定し、道徳教育推進教師を中心に道徳教育の充実を努める
- 生徒指導の三機能（共感的人間関係、自己有用感、自己決定）の活用を図る
- 地域の歴史や伝統（ふるさと金沢）を大切にする心の育成に努める
- 自分のもの、公共のもの、みんなが使うものなどを大切にする心の育成に努める
- 日々の挨拶や周りの人に感謝する心の育成に努める
- 自分の将来を考え、自らの夢や希望が持てるキャリア教育に努める
- 情報化社会の中で、様々な情報に対して適切に考え行動できるようにするため、情報モラル教育を推進する

④ 健やかな体の育成

- 体力向上に向け、体育指導の充実や「体カアップ事業」に積極的に参加し、計画的に継続的な取り組みを行う
- 規則正しい生活の推進及び定着に向けた取り組みを行う
- 命の大切さや身の安全を確保する行動力の育成を図る

⑤ 地域・家庭との連携

- 学校の教育活動についての理解を得るための情報公開に努める
- 体験活動などにおいて、積極的に地域人材の活用を図る
- 子どもや保護者の悩みや相談に対して適切に対応できるよう、教育相談体制の充実を図る
- 地域行事やPTA 活動への協力を進める

⑥ 教職員の業務適正化に向けた具体的な取り組み

- 業務の適正化は、教職員が本務に専念するための時間を確保するためであることを共通理解する
- 見通しを持った計画、企画文書作成の適正な振り分け、資料の事前配付に努め、時間意識をもって諸会議を運営する
- 次年度に活かせる文書管理、データ管理を行う
- 業務について点検し、取り組み状況を評価し、結果分析を行い、改善に努める
- 月1回の定時退校日と最終退校目標時刻を設定し、その遵守に努める
- **教科担任制**の導入により、教材研究及び授業の準備の効率化を図る
- 教職員の勤務時間の改善に向けた取り組みについて、保護者・地域に説明するなどし、理解と協力を求める